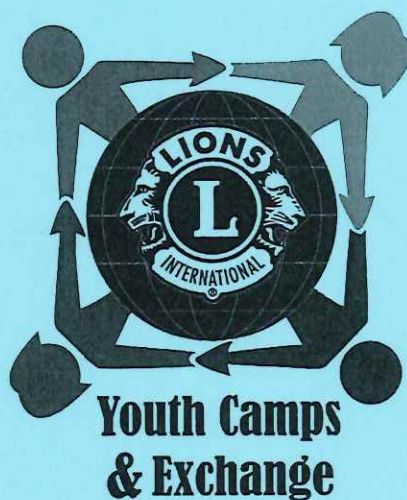


ライオンズクラブ国際協会 334-C 地区

Y C E レポート

【 2025 ~ 2026 年度 】



〒422-8067 静岡市駿河区南町 6-1 南町第一ビル 3F

ライオンズクラブ国際協会 334-C 地区 Y C E 委員会

TEL 054-286-8922 / FAX 054-286-8919

URL <http://www.lions334-c.org>

E-mail webmaster@lions334-c.org

目 次

2025～2026年度地区役員

- | | |
|----------------------------------|-----|
| 1. 地区ガバナー L. 杉山節雄「YCEレポート発行に寄せて」 | P 1 |
| 2. YCE委員長 L. 岡田 弘「YCEレポート発行に寄せて」 | P 2 |

2026年夏季派遣青少年名簿

- | | |
|------------------|--------|
| 3. 夏季派遣青少年派遣レポート | P 4～ 6 |
|------------------|--------|

* ドイツ ; 豊田琢司 (湖西 LC)

2025年冬季来日青少年並びにホストファミリー名簿

- | | |
|----------------------|--------|
| 4. 冬季ユースキャンプ日程表とレポート | P 8～11 |
|----------------------|--------|

* ドイツ ; Johann KNOLL P9 (沼津 LC) *L 三須王左武 P10～11

2026年夏季来日青少年並びにホストファミリー名簿

- | | |
|----------------------|---------|
| 5. 夏季ユースキャンプ日程表とレポート | P 13～24 |
|----------------------|---------|

* フランス ; NATHAN GUIMBERTEAU P14～15 (浜松南 LC) *L 高橋史晶 P16～18

* ドイツ ; Paula Schoto P19 (静岡リバティ LC) *L 佐原佳則 P20～21

*L 菅野敬介 P22～24

334-C地区派遣・受入実績

- | | |
|--------------------|------|
| 6. クラブ別派遣・受入実績表 | P 25 |
| 7. 過去39年間の派遣・受入実績表 | P 26 |



YCEレポート発行に寄せて

2025～2026年度地区ガバナー

杉山 節雄

ライオンズクラブのYCEプログラムは「世界の人々の間に相互理解の精神をつちかい発展させる」の目的に基づき、1974年の国際理事会で採択された「青少年交換規定」のもと、半世紀以上にわたり世界の青少年の人間形成と国際協調に大きな役割を果たしてきました。

YCE事業は①他国の人と接する機会を青少年に与える②異なる文化的背景を持つ家庭や地域社会の生活を経験させる③ライオニズムを通して、国際理解と親善を促進する…を主旨とし、単なる観光旅行ではなく、異なる国のユースキャンプやライオンズメンバーの家庭で地域社会や異文化・異宗教の人々との交流を実体験し、相互理解を深めて自身の人間形成に役立てていくことが大きな目的であります。SNSの発達や誰でも気軽に海外に行くことが普通になった近年は、プログラム発足当初から見ると参加者が少なくなったと感じています。

今年度、当地区の夏季派遣プログラム参加者は1名(湖西LC・男子)で2週間、ドイツのユースキャンプに参加しました。受け入れは冬季1名(ドイツ男子)、夏季2名(フランス男子・ドイツ女子)で、ホスト下だったクラブとメンバー各位には心より御礼を申し上げます。

残念なことに今、世界では国際間の協調・融和面で多くの紛争や諸問題が発生しておりますが、人と人との間に芽生えた友情や愛情はそれらに影響されることなく、未来に続いていくものと思います。

YCEプログラムに参加された青少年の皆さんには、是非、今回の派遣・受け入れで得た友情や異国の家族の愛を忘れることなく、今後の人生に生かしていただきたいと思います。

最後に、この事業実行のためにご尽力いただいた関係地区役員・ホストクラブ・ホストファミリー・スポンサークラブの皆様にご心より感謝を申し上げ、YCEプログラムの益々の発展を心より祈念して寄せる言葉と致します。



YCE レポート

2025～2026年度YCE委員長

岡 田 弘

YCE 事業に携わり副委員長から委員長として2年間努めた報告をしたいと思います。

YCE 事業とは、青少年育成の一環としての事業だと心得ております。まずは派遣、受入、ユースキャンプが主な事業です。今年度はドイツに1名派遣されました。本来ですと現地でキャンプをやり、その後ホームステイとなるわけですが、ホームステイが無いプログラムになり少し早い帰国になりました。

そして受入はイタリアの男子1名、ドイツの女子1名でした。受入に際し自分の不手際により、こちらのホームステイ先が決まらない状態が続きましたが、浜松南 LC が最後に手を挙げてくださり本当に助かりました。

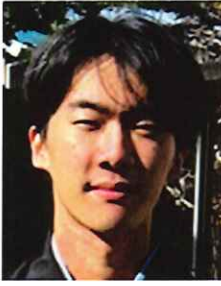
複合地区主催のユースキャンプですが4泊5日の日程です。今年度はヨーロッパ13か国、アジア1か国の14か国、計20名でのキャンプでした。まずはセントレア空港での出迎えにはじまり、愛知県犬山市でキャンプ、そして京都に移動し日本文化を経験してもらいました。YCE 生は16歳～23歳でまだ幼い雰囲気の子もいれば、普通に大人っぽい子もいました。ここでの対応はほぼ英語で日本語が分かる YCE 生は数人でした。自分は英語がダメなので翻訳アプリでなんとか凌ぎました。

このキャンプにはライオンズスタッフ14名、YCEOB 生6名程が参加します。この YCEOB 生とは以前派遣された大学生で、この学生たちが英語での対応をしてくれて本当に頼りになりました。キャンプ中にはトラブルがつきものらしいですが、大問題に発展するような事がなかったので一安心です。気を使ったところは、宗教上の問題で豚肉はだめ、ベジタリアン他、先天性の疾患への対応でした。しかしこの問題は事前に報告されているのですべてに対応できたと思います。一番大変だった事は日程が7月初旬の京都という事で夏の暑さに皆さんバテ気味でした。自分も YCE 生にも熱中症には細心の注意をはらい活動しました。キャンプ最終日は京都駅にて解散し滞在都市に移動になります。YCE 生の皆さんは名残惜しく、またの再会を約束しているようでした。自分もこの光景を見たとき YCE 活動の良さを感じる事ができました。

最後にライオンズクラブの1年は皆さんご存じの通り7月から6月末までです。しかしこの YCE 活動は期をまたいでの活動になります。他の委員会とは少し感じが違いますが、最後に感じる達成感は代えがたいものがあります。この活動に携わった皆様に感謝申し上げますと共に来年も再来年も継続した事業になることを願っています。
ありがとうございました。

2026年夏季派遣青少年名簿

No.	ID-No.	派遣先	氏 名	ｽﾎﾟﾝｻｰ L C
1	G-1	ドイツ	豊田 琢司	湖西



夏季派遣レポート

湖西LC 豊田 琢司

2026 ドイツ - コンスタンツ

私は2026年8月1日～15日の間、ドイツの南西部のスイス国境沿い、ボーデン湖畔に位置する都市コンスタンツに行ってきました。行くきっかけとなったのは、祖父が紹介してくれたということもありますが、自分の生まれがドイツのフランクフルトであるということもあり、ヨーロッパというものに興味があったので、普通の旅行では味わえない良い機会だと思ったからです。

ともに生活をしたメンバーは全員で15人でした。イタリアからが3人、カナダ、ノルウェー、インド、トルコ、イスラエルからが2人ずつ、ハンガリーからが1人でした。暮らしていた家はボーデン湖畔に面したコテージのようなところで、すぐ隣にはビーチバレーができるコートや、湖に入れる場所がありました。ホストである2組の夫婦が私たちを様々なところに連れて行ってくれました。

朝は8時過ぎから朝ごはんを食べ、9時過ぎからその日のアクティビティーをして、夜の10時過ぎあたりから寝るという生活スタイルでした。朝ごはんはドイツらしく、パンにハム、チーズ、バター、ジャムなど、また、バナナやリンゴなどのフルーツ、そして、ヨーグルトやシリアルでした。パンは日本の柔らかいものではなくハードなものとプレッツェルでした。驚いたのは、日本ではチーズやハムは動物性のものが主流だと思うのですが、植物性のものも用意されていて、いろんなレストランに行った際も植物性のものが普通に置いてあったことです。昼ご飯や夜ご飯は外で食べる時もあれば、家で自分たちが作る時もありました。外出した際は、近くの大学にみんなで行き、そこで昼ご飯を食べました。また、自分たちで作る際は、いろんな国からきているので、その国の料理を作ってくれました。印象に残っているものは、インドのカレーみたいなもの（カレーという名前ではなかった）とイタリアのティラミスです。私は用意できてなかったので料理はしなかったが、近くのスーパーによれる時間があり、そこに辛ラーメンやカップラーメンがあったので、それを夜食に作りました。海外の人からすればそういったものは珍しいので、作り方を教えてあげたら喜んでいました。

アクティビティーでは、ボーデン湖で泳いだりヨットに乗ったりし、また、街のほうや様々な歴史的建造物を見に行きました。ボーデン湖はとても透き通った水で、泳ぐのにとっても気持ちよかったです。カヌーやサーフィンボードのようなものに立って漕ぐたち漕ぎカヌーもしました。また、ヨットに乗った際は、ボーデン湖はドイツ、スイス、オーストリアに面しているので、その3国それぞれの船が行き来していて、日本では味わえない体験をしました。街では、スーパーに行ったりお祭りを見に行ったりしました。ボーデン湖畔付近のお祭りだったので、ドイツ側から打ち上げる花火とスイス側から打ち上げる花火を見れました。また、図書館や教会、お城を見に行き、ヨーロッパらしい建造物を見ることができました。

行く前は正直めんどくさいと思っていたが、いざ行ってみると、毎日が楽しく、あっと

いう間に日々が過ぎていきました。英語にもあまり自信がなかったのが不安ではあったが、夜にみんなでゲームをしたり、お酒を飲んだりして、言語を超えたコミュニケーションができたと思います。全く異なった環境で育ってきた人たちと生活するのは、普段生きていて出会えないような価値観や日常を体感することができ、とても良い体験でした。





2025～2026年度 冬季来日青少年並びにホストファミリー一覧表

No.	ID-No.	ユース名	年齢	性別	出身	ホストLC	受入期間	ホストファミリー
1	G J - 1	Johann KNOLL	18	M	ド イ ツ	沼 津 1	12/9～12/19	L 三 須 王左武

※冬季ユースキャンプ 12月19日(金) ～22日(月)

2025-26 MD334 冬季ユースキャンプ日程

期 間：2025年12月19日(金)～22日(月) 3泊4日

2025年11月14日

参加予定人数：来日生 19名・キャンプスタッフ (OB生 5名・LC 13名) 延べ人数 37名

日 曜	時 間	活動内容	場所・会場	宿泊施設
① 19日 (金)	13:45	JR名古屋駅 中央コンコース 桜通り口「金の時計」エスカレーター 2Fフロア		愛知県 犬山国際 ユースホテル (3泊)
	14:23 ～ 14:52	名鉄名古屋駅～犬山遊園駅 (名鉄快速特急 豊橋発新鵜沼行)		
	15:00 ～ 16:00	犬山国際ユースホテル現地に直接行かれる場合		
	15:30 ～ 16:30	宿泊施設チェックイン		
	17:00 ～ 18:15	結団式 (来日生・キャンプスタッフ自己紹介～オリエンテーション)	施設第1集会室	
	18:30 ～ 19:15	夕 食	施設食堂	
	19:30 ～ 21:30	入 浴・フリータイム		
	20:00 ～ 20:30	キャンプスタッフミーティング	施設第1集会室	
	22:00	就 寝	【犬山国際ユースホテル：愛知県犬山市大字継鹿尾字氷室 162-1】	
② 20日 (土)	06:30	起 床		愛知県 犬山国際 ユースホテル (3泊)
	07:15 ～ 08:00	朝 食	施設食堂	
	08:30	犬山国際YH施設 出発	バスにて移動	
	10:50 ～ 12:15	研修① 世界文化遺産散策	白川郷荻町集落 徒歩にて散策	
	12:15 ～ 13:55	昼 食	山里料理 基太の庄	
	13:00	基太の庄 出発	バスにて移動	
	14:00 ～ 15:40	研修② 高山市内散策	高山祭屋台会館～宮川～古い町並み	
	15:45	高山 出発	バスにて移動	
	18:00 ～ 18:50	夕 食	宮崎牛すき焼き定食	
	19:20	犬山国際YH施設 到着		
	19:30 ～ 21:30	入 浴・フリータイム	浴 室	
	20:00 ～ 21:00	キャンプスタッフミーティング	施設第2集会室	
	22:00	就 寝	【犬山国際ユースホテル：愛知県犬山市大字継鹿尾字氷室 162-1】	
③ 21日 (日)	06:30	起 床		愛知県 犬山国際 ユースホテル (3泊)
	07:15 ～ 08:00	朝 食	施設食堂	
	09:00 ～ 10:00	研修③ 各国紹介・コミュニケーションタイム	施設第1集会室	
	10:15 11:45	研修④ テーマディスカッション 日本の文化・習慣について	施設第1集会室	
	12:00 ～ 12:45	昼 食	施設食堂	
	13:00	犬山国際YH施設 出発	バスにて移動	
	13:20 ～ 15:00	研修⑤ 野外民族博物館見学	リトルワールド	
	15:20 ～ 17:10	研修⑥ 城下町散策	犬山市内 徒歩に散策	
	17:30	犬山国際YH施設 到着		
	18:00 ～ 19:00	夕 食	施設食堂	
	19:00 ～ 20:00	お別れイベント	デザート・ソフトドリンク～ビンゴゲーム	
	20:30 ～ 22:00	入 浴・フリータイム	浴 室	
	20:30 ～ 21:00	キャンプスタッフミーティング	施設第1集会室	
	22:30	就 寝	【犬山国際ユースホテル：愛知県犬山市大字継鹿尾字氷室 162-1】	
④ 22日 (月)	05:30	起 床 (マレーシア来日生)		
	06:00	起 床 (ヨーロッパ来日生)		
	06:50	犬山国際YH施設 出発	施設マイクロバスにて	
	07:00 ～ 07:45	朝 食 (マレーシア来日生は、セントレア空港にて)	マレーシア来日生	
	07:16 ～ 08:24	犬山遊園駅～中部国際空港駅 (ミュージカイ 全車特別車)	マレーシア来日生	
		・マレーシア来日生 (1名) JR名古屋駅へ送る ・ドイツ・イタリア来日生は帰国フライト便に応じて、午前中に施設出発		



REPORTING FORM FOR YE YOUTHS

Sponsor LIONS CLUB	NUMAZU	ID No.	GJ-1
NAME	Johann Knoll	DIST.	334-C

※Please write IN ENGLISH and use a FOUNTAIN PEN or BALL-POINT PEN.

When I first got to Japan, a lot of things were scary for me. Over the time of this exchange program I had to learn and understand many many things.

But with the help of my host family and the kind lion club members I was in for a smooth ride. Everyday was an interesting, new and unforgettable experience, I enjoyed going on trips with the club members and my host family and I will never forget the time that I was allowed to spend together with you.

I want to thank you so much for this wonderful time and for all the things you have taught me about Japan's culture, language, people and manners. I really believe that this exchange program is a great way to explore a foreign country for the first time. My dear host family, I am very glad I got to meet you in course of this program and I will never forget the kindness you showed me and the fun time we have had.

ホストファミリー・レポート用紙

ホスト	氏名	三須 王左武		地区	334-C	LC	沼津 LC
来日生	国州	ドイツ	氏名	Johann KNOLL		ID No.	GJ-1

コロナ禍の影響により、クラブ活動にはさまざまな制約や配慮が求められ、内向きな例会や継続事業の消化的な活動が続いていた印象がありました。そのような中、ようやくアクティブモードへと切り替わった実感を得る中で、2025-26 年度には当クラブから夏季キャンプへ 1 名を派遣し、あわせて冬季の受入れ要請を受けることとなりました。

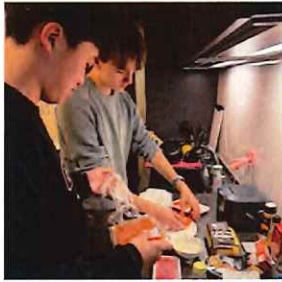
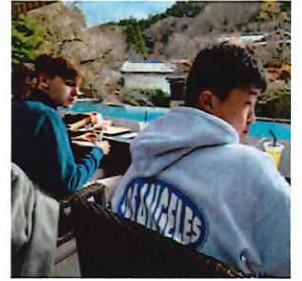
我が家は、妻と 14 歳（中学 2 年生）の息子との 3 人暮らしで、居住スペースにも余裕があることから、ホストファミリーとして受け入れをお引き受けさせていただきました。来年には息子が学校のプログラムでフィリピンへホームステイを予定していることもあり、家族の理解もスムーズで、来日までの約 1 か月間、さまざまな情報を共有しながら受け入れ準備を進めました。

生成 AI の普及・進歩もあり、いわゆる「ことばの壁」に対する不安はほとんどなく、12 月 9 日から 19 日までの 11 日間、互いにいかに充実した時間を過ごせるかを重視して取り組みました。事前にヨハンへ家族紹介を行うとともに、例会や沼津市長への表敬訪問などのスケジュールを共有し、滞在期間中に希望するアクティビティについてもリクエストをいただきました。

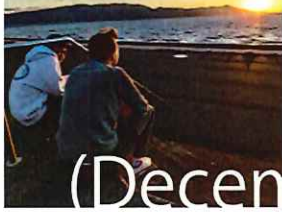
会員数 60 名を擁する当クラブは組織力も高く、会員同士が協力的で気心の知れた関係にあることから、会長をはじめ YCE 委員会および主要メンバーによる特別チームを編成し、グループ LINE と「旅しお」アプリを活用して旅程の更新を随時共有し、全体の約 50% の予定が固まった段階でヨハンを迎えることとなりました。ヨハンはもともと日本の風習や文化への関心が高く、日本語や合気道も学んでおり、大学進学前に日本での生活を経験したいとの思いから YCE の情報を知り、来日を志願したとのことでした。非常に前向きでコミュニケーション能力の高い青年で、クラブ主催のウェルカムパーティーや例会、沼津市長への表敬訪問においても、落ち着いて立派なスピーチを披露してくれました。また、ホームパーティでは早朝からの買い出しや料理、テーブルセッティング、後片付けに至るまで積極的に関わり、息子とも自然に交流してくれました。その姿を通じて、家族はもちろん、関わってくださったクラブメンバーやご家族の皆さまも含め、誰もが一体感を感じられる、非常に貴重な体験となりました。

あえて反省点を挙げるとすれば、環境やもてなしが十分すぎたのではないか、という点でしょうか。

このような貴重な経験の機会をお与えいただき、誠にありがとうございました。



Johann KNOLL – Photos from His Stay in Japan



(December 9–19, 2025)



334C-3R-17 NUMAZU IONS CLUB

2025～2026年度 夏季来日青少年並びにホストファミリー一覧表

No.	ID-No.	ユース名	年齢	性別	出身	ホストLC	受入期間	ホストファミリー
1	F J - 1	NATHAN GUIMBERTEAU	18	M	フランス	浜松南	1 7/14～7/23	L 高橋史晶
2	G J - 1	Paula Schoto	19	F	ドイツ	静岡リパティ	1 7/14～7/19 2 7/19～7/23	L 佐原佳則 L 菅野敬介

※夏季ユースキャンプ 7月10日(金)～14日(火)

2026年 MD334 夏季ユースキャンプ日程

期 間：2026年7月10日(金)～14日(火) 4泊5日 ※来日 7月9日(木) セントレア空港ホテル 1泊

参加予定人員：来日生 22名・キャンパススタッフ (OB生 6名・LC 10名) 38名にて設定

2026年6月1日

日 曜	時 間	活動内容	場所・会場	宿泊施設
① 9 日	(木)	終日 夏期受入れ生 来日 (個々に入国) ※フライト便が異なる為 ・入国指定空港：中部国際空港 (セントレア) 昼食 (スタッフミーティング) キャンパススタッフ 入国次第、各自チェックイン ※キャンパススタッフ フォロー 夕食 (夕食後、フリータイム～就寝)	中部国際空港施設 ホテルor空港レストラン	愛知県 空港敷地内 コンフォートホテル
② 1 0 日	(金)	07:00～08:00 起床 08:30～09:15 朝食 10:00 集合 10:15 コンフォートホテル 出発 バスにて移動～犬山国際ユースホテルへ 11:45 犬山国際YH施設 到着 (荷物をロビーに搬入) 12:00～12:40 昼食 13:00～13:40 結団式 (来日生・キャンパススタッフ自己紹介) 13:45～14:30 オリエンテーション (ユースキャンプ規則の説明等) 14:45 犬山国際YH施設 出発 バスにて移動～犬山城・城下町へ 15:00～17:00 研修① 城下町散策 犬山城下町 徒歩に散策 国宝 犬山城 17:30 犬山国際YH施設 到着 各自部屋に荷物を移動～整理 18:00～18:40 夕食 19:00～20:00 研修② 日本文化の基礎知識 (基本的な日本語・習慣を学習) 第1集会室 (2F) 20:10～21:30 入浴・フリータイム ※スタッフミーティング (20:00) 犬山国際YH浴場 22:00 就寝 【犬山国際ユースホテル：愛知県犬山市大字継鹿尾字氷室 162-1】	ホテルレストラン ホテルロビー 犬山国際YH食堂 第1集会室 (2F) 第1集会室 (2F) 犬山国際YH食堂 第1集会室 (2F) 犬山国際YH浴場	愛知県 犬山国際 ユースホテル (2泊)
③ 1 1 日	(土)	06:30 起床 07:15～08:00 朝食 バイキング 09:00 犬山国際YH施設 出発 バスにて移動 10:00～11:30 研修③ 日本科学技術体験 かかみがはら航空宇宙博物館 11:40 かかみがはら航空宇宙博物館 出発 バスにて移動～犬山リトルワールドへ 12:30～16:00 研修④ 野外民族博物館見学 昼食(BBQ)～園内自由見学 犬山リトルワールド 16:30 犬山国際YH施設 到着 17:00～18:20 研修⑤ 各国紹介 第1集会室 (2F) 18:30～19:15 夕食 犬山国際YH食堂 19:30～21:30 入浴・フリータイム ※スタッフミーティング (20:00) 犬山国際YH浴場 22:00 就寝 【犬山国際ユースホテル：愛知県犬山市大字継鹿尾字氷室 162-1】	犬山国際YH食堂 犬山国際YH食堂 犬山リトルワールド 犬山国際YH食堂 犬山国際YH浴場	愛知県 犬山国際 ユースホテル (2泊)
④ 1 2 日	(日)	06:30 起床 07:15～07:45 朝食 (朝食後部屋片づけ) バイキング 犬山国際YH食堂 08:15 犬山国際YH施設 出発 バスにて移動 (名神高速経由～多賀SA休憩) 11:15～12:15 研修⑥ 日本伝統文化体験A 本格おとうぶづくり体験 京都しゅうやかた 12:45～13:20 昼食 京都しゅうやかた 13:40～15:30 研修⑦ 日本伝統文化体験B 京染ハンカチ手書き友禅・抹茶体験 京都しゅうやかた 15:30 京都しゅうやかた 出発 バスにて移動～二条城へ 15:45～17:00 研修⑧ 日本歴史文化体験A 世界遺産 元離宮二条城 (二の丸御殿) 17:20 宇多野YH施設 到着 到着後、荷物を持って集会室へ 17:45～19:00 オリエンテーション (施設説明・13日の活動説明～各部屋に移動) 集会室 (1F) 19:00～19:45 夕食 宇多野YH食堂 19:50～20:30 研修⑨ 日本伝統文化体験C 浴衣着付け体験 (13日の支度) 集会室 (1F) 20:30～22:00 入浴・フリータイム ※スタッフミーティング (20:00) 宇多野YH浴場 22:30 就寝 【宇多野ユースホテル：京都市右京区太秦中山町29】	犬山国際YH食堂 犬山国際YH食堂 京都しゅうやかた 京都しゅうやかた 京都しゅうやかた 二条城 宇多野YH施設 集会室 (1F) 宇多野YH食堂 集会室 (1F) 宇多野YH浴場	愛知県→京 都 宇多野 ユースホテル (2泊)
⑤ 1 3 日	(月)	06:00 起床 07:00～07:45 朝食 ブッフェ 宇多野YH食堂 07:45～08:45 浴衣の着付け ライオンズスタッフにて手伝い 各部屋 09:00～10:00 宇多野YH施設 出発 バスにて移動 (トロッコ亀岡駅へ) 10:30～10:53 研修⑩ トロッコ列車体験 嵯峨野4号 亀岡駅～嵐山駅 11:00～12:00 研修⑪ 日本歴史文化体験B 嵐山竹林～天龍寺 散策 12:15～13:00 昼食 (レストラン嵐山) 昼食後、バスにて移動 嵐山～太秦 13:30～15:30 研修⑫ 日本歴史文化体験C レクリエーション (アトラクションバス付) 東映太秦映画村 16:00 宇多野YH施設 到着 太秦より、バスにて移動 太秦～宇多野 16:30～17:45 研修⑬ テーマディスカッション 日本の伝統文化の体験について 集会室 (1F) 18:00～20:00 夕食 (フェアフェルパーティー) ビンゴゲーム・オードブル・デザート 集会室 (1F) 20:00～22:00 入浴・フリータイム (パッキング) ※スタッフミーティング (20:00) 宇多野YH浴場 22:30 就寝 【宇多野ユースホテル：京都市右京区太秦中山町29】	宇多野YH食堂 各部屋 トロッコ亀岡駅 嵐山駅 嵐山 嵐山～太秦 東映太秦映画村 太秦～宇多野 集会室 (1F) 集会室 (1F) 宇多野YH浴場	京 都 宇多野 ユースホテル (2泊)
⑥ 1 4 日	(火)	06:30 起床 07:30～08:15 朝食 (朝食後部屋片づけ) ブッフェ 宇多野YH食堂 09:00 宇多野YH施設 出発 バスにて移動 09:15～11:15 研修⑭ 日本歴史文化体験D 世界遺産 寺院見学 仁和寺・金閣寺 11:30～12:30 研修⑮ 禅料理体験 (昼食) 精進料理 (鉄鉢料理) 大徳寺 泉仙 13:30～14:00 JR京都駅 解散 ・各地区ホストファミリーへ JR京都駅八条口	宇多野YH食堂 宇多野YH施設 仁和寺・金閣寺 大徳寺 泉仙 JR京都駅八条口	

REPORTING FORM FOR YE YOUTHS



Sponsor LIONS CLUB	浜松南 LC	ID No.	FJ-1
NAME	NATHAN GUIMBERTEAU	DIST.	334-C

※Please write IN ENGLISH and use a FOUNTAIN PEN or BALL-POINT PEN.

This stay in Japan, spent with the Takahashi family, will remain a defining moment in this experience. Beyond discovering a fascinating country, this trip was all my expectations, carried by the warmth of the welcome and the generosity of a family who included me in their daily life.

Living within this family allowed me to move beyond the simple status of a tourist and become, for a few days, a full member of the household. Kei and Jho introduced me to their daily life with great kindness, sharing their habits and hobbies. Shared meals were particularly precious to me during this stay. Family dinners were convivial and I had the chance to meet all the family with I am really grateful for. I also, during them, understand more Japanese social codes. Mostly, I grew a sense of belonging felt despite the language barrier. These everyday moments gave me an authentic glimpse into Japanese life.

Attending a Japanese school was a rare and significant moment of this stay, offering me a privileged look into the Japanese education system, revealing the differences from the French system. During, I met many students and we became friends, I made unforgettable memories with them with many funny moments.

Beyond the school visit, the family showed remarkable thoughtfulness by arranging meetings with English speakers to help me facilitate my integration. This initiative reflects genuine attention to my comfort and understanding of the Japanese environment despite the language barrier. I want to thank everyone I met during the stay to have tried to speak with me with translator or English, You are all very kind.

The homestay was also an opportunity for remarkable cultural visits between ancestral tradition and urban modernity. Visiting temples and castles was fascinating and allowed me to grasp the cultural depth of Japan. The serenity of those places and the care taken in their preservation reflects well the Japanese mindset which I love.

Having the opportunity of visiting Tokyo was one of the highlight of the trip. The contrast between the historic districts and the ultra-modern areas of the capital was mind-blowing. I am also very glad to met Hamamatsu's vice president and all the lions members.

I would like to express my deepest gratitude to the Takahashi family for their warm welcome and generosity. Thanks to them, I was able to discover Japanese culture not superficially but through the lens of daily life and human relationships, which I believe is the best way to understand a country. I feel like I am a member of this family for the rest of my life. Their kindness, their patience with my questions, their constant concern for helping me communicate and their willingness to share their traditions made this trip unforgettable.

Arigato Gozaimasu

I love



ホストファミリー・レポート用紙

ホスト	氏名	高橋史晶		地区	334-C	LC	浜松南
来日生	国州	フランス	氏名	NATHAN GUIMBERTEAU		ID No.	FJ-1

7月14日～23日までの10日間、ホストファミリーとしてフランス人のネイサンを受け入れることになりました。昨年、息子がイタリアへホームステイに行かせて頂いたので、その恩返しがしたく今回お受けすることにしました。

7月14日 15時52分 ネイサンが浜松駅に到着。浜松南ライオンズクラブのメンバーと一緒に駅ホームまで出迎えしてくれました。見た目の第一印象は、背が高くカッコいい好青年でした。

7月15日 浜松南ライオンズクラブの方々と浜松市役所へ行き、平野岳子副議長と面会をさせていただきました。副議長からも「フランスと日本の架け橋になってください。」とネイサンにお言葉をかけて頂きました。ネイサンも緊張した様子でしたが良い体験ができたのではないかと思います。

その後浜松城へ行き、浜松の歴史を感じてもらいました。お城には非常に興味があるようでした。

昼食には天ぷらを食べましたが、ネイサンは天ぷらがとても好きだと言っていました。

午後は、スズキ歴史観へ行き、スズキの歴史も学ぶことができました。

7月16日 竜ヶ岩洞へ行き、鍾乳洞の見学を行いました。

午後は、イオンモールでショッピングをしました。

7月17日 息子の通っている磐田南高校へ息子と一緒に登校して、他の生徒と一緒に授業を受けました。国語の授業では、日本の文化についてグループ発表を行い、ネイサンに英語で説明をしてもらいました。放課後には部活見学を行い、書道部にて書道の体験をしました。非常に良い体験になったと思います。

7月18日 私の友達家族と一緒に日本平と久能山東照宮に行きました。日本の神社やお寺に興味があるようでした。夜には磐田の夏祭りを見に行き、出店などの祭りの雰囲気を楽しむことができました。

7月19日 昼に実家で親戚一同が集まり昼食を食べました。いろんなお話をしたり、小さい子たちと遊んだりして過ごすことができました。夜にはサックスの演奏会を見に行きました。

7月20日 高校生の息子とその友達と一緒にアミューズメントパークに行き、運動をしたり、ゲームをしたりして1日過ごしました。

7月21日 私の兄と一緒に二人で東京へ観光へ行きました。スカイツリーや浅草を観光し、渋谷や上野でショッピングを楽しみました。日本のアニメやプラモデルをお土産にたくさん買い物しました。夜には息子のクラスメート30人で焼肉を食べ、非常に満喫した感じでした。

7月22日 弊社高橋刃物工業の工場見学をしました。切削工具を生産する工場で、NC旋盤やマシニングセンターはネイサンも学校で勉強したことがあるようでした。他にも放電加工機などを見学できて有意義だったと思います。午後には浜松駅に買い物に行き、お土産を買いました。夜は、親戚等を家に招いてネイサンの好きな天ぷらを一緒に作りました。

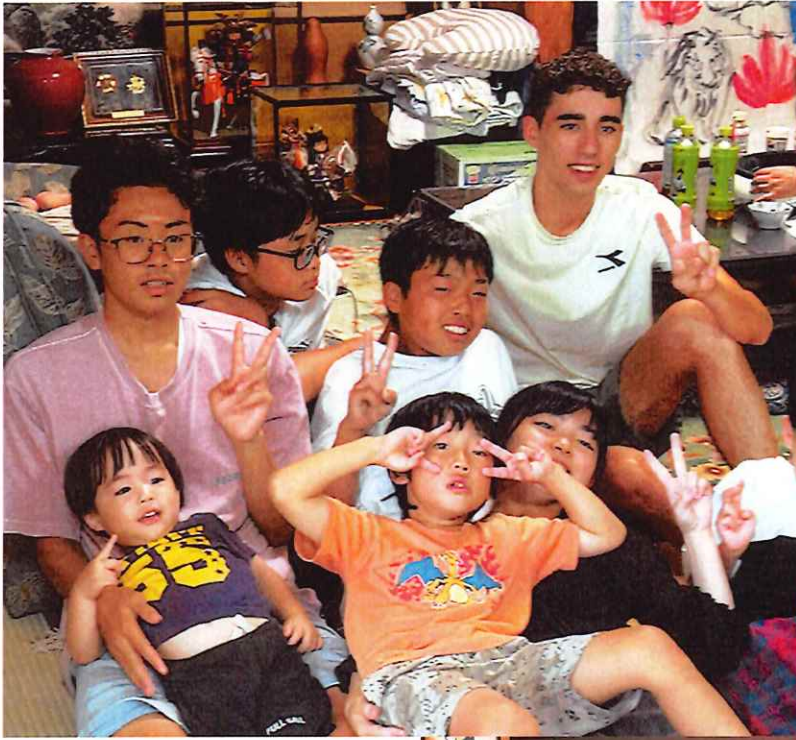
7月23日 最後の日、家族及びライオンズクラブの方々と浜松駅までお見送りに行き、お互いお別れが悲しかったですが、しっかり挨拶と今後の健闘を誓い、また会うことを約束しお別れしました。

10日間のホームステイを終え、非常に良い経験ができたと思います。ネイサンはとても賢く優しい人柄で、生活面では何も問題はありませんでした。会話は、携帯の翻訳アプリを使いながら話もできましたが、やはり流暢な英語を話せないと深い話をするのは難しいとも感じました。

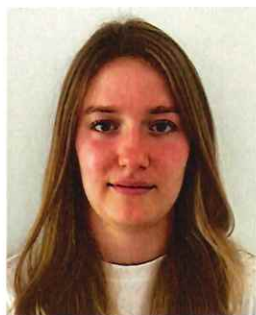
今回は、高校へも通い、日本の学校生活も体験できましたし、浜松城や久能山東照宮などの歴史的建造物を見学でき、日本の文化にも触れることができ非常に良い経験ができたと思います。

家族、友人、ライオンズクラブの皆さんの支援により、ホストファミリーとしてネイサンを受け入れることができとてもよかったと思います。ありがとうございました。





REPORTING FORM FOR YE YOUTHS



Sponsor LIONS CLUB	Shizuoka Liberty	ID No.	G J -1
NAME	Paula Schote	DIST.	334-C

※Please write IN ENGLISH and use a FOUNTAIN PEN or BALL-POINT PEN.

There are no words to describe what I got to experience in the last 15 days. The Summer Youth Camp 2026 in Japan exceeded all my expectations and hopes.

I got to experience Japanese culture in its many different forms. We visited temples and shrines, tried a wide variety of new foods, and had the opportunity to connect with local people both inside and outside the camp.

It didn't take long to realize that the Japanese are among the most humble, selfless, and kind people I have ever met. Soon, we all realized that this spirit shaped the atmosphere of the camp and the friendships that were formed during those first six days. Never before have I witnessed strangers become such close friends in such a short time.

Neither cultural differences nor language barriers stood between us because we experienced all of these new things together for the very first time. Those shared experiences brought us even closer.

Although saying goodbye was bittersweet and came far too soon, we were all excited to meet our new host families and continue this unforgettable journey.

I think I don't speak for myself when I say that the host families are the ones who made our stay unique.

I am so thankful to have met these two wonderful families. They treated me like their own daughter, let me take a look into their private lives, and showed me the most wonderful places. They did so much more for me than I could have ever imagined.

These last two weeks were the most extraordinary, heartwarming, and fulfilling days of my life. The memories that I will always carry close to my heart are the people who became family, the friends, and saying goodbye so soon.

A huge thank you to the Lions Club, whose outstanding support and organization made all of this possible for us.

ホストファミリー・レポート用紙

ホスト	氏名	佐原佳則		地区	334-C	LC	静岡リバティ
来日生	国州	ドイツ	氏名	Paula Schote		ID No.	G J - 1

●振り返り

YCE 生であるポウラさんは、食へのチャレンジ、日本の文化にも触れ、名所や寺院を訪問したことで、プログラムの目的である、「将来の世界平和に役立つ人間の成長」に向けた一助になったと感じております。

また、ポウラさんご家族からいただいた手紙（Line にて）で、とても感謝している話から、ポウラさんを、わたしたち家族の一員として受け入れたことが伝わったこと感じ、とても嬉しいです。

ご家族、ポウラさんからの誘いをいただきましたドイツ訪問を、いつか、実現したいと思っております。

とても楽しい 6 日間を過ごすことができたこと、子供たちのも良い経験になったこと、感謝しております。

●ドイツからお越しいただいたポウラさん

明朗、快活、好奇心に溢れ、前向きな方です。家事のお手伝いを、自ら申し出てくれました。

費用の心配をしてくれ、心優しく、人に対して気遣いのできる方です。

妻とは、夜中まで英語で会話し、ドイツと日本の習慣や文化の違いについて、熱心に質問をいただきました。

ベジタリアンの理由、お住まいの町のことなど、沢山お話いただきました。

●体験したこと

餃子づくり、お盆（送り火）、温泉入浴、食事（肉、魚、和食）への挑戦、など

●訪問場した所

渋谷（忠犬八公像、センター街、ロフト）、原宿（竹下通り散策）、国立競技場（車窓）

上智大学（構内散策）、食事（ブッフェ、寿司、天ぷら、和牛、ラーメンなど）、国会議事堂（車窓）、

東京タワー（立ち寄り）、東京スカイツリー（展望台）、ソラマチ（買物、小籠包）、

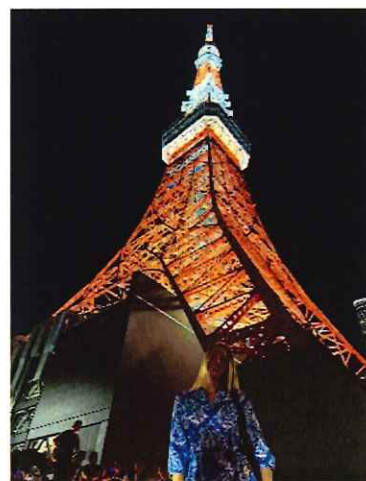
浅草（人形焼き、散策）、浅草寺お参り、銀座（伊東屋、ロフト、三越地下街）、

横浜みなとみらい（散策、一風堂）、箱根（温泉、日本料理、湯本散策、富士屋ホテル散策）、

静岡街中（ななや抹茶、ライオンズ像前で撮影）、例会出席（お琴体験）、市長表敬訪問

●次回、YCE 生受け入れるホストファミリーへ

来日前に、メールや LINE（タイムリーで、翻訳しやすい）で連絡をとり、コミュニケーションを重ねることをお勧めします。YCE 生によって、学びたい事、やりたいこと、行きたい場所が異なることを考慮し、予め、希望を聞きながら、各家庭で受け入れるメリットを生かし、有意義なスケジュールを組むことをお勧めします。



ホストファミリー・レポート用紙

ホスト	氏名	菅野敬介		地区	334-C	LC	静岡リバティ
来日生	国州	ドイツ	氏名	Paula Schote		ID No.	GJ-1

19 日 11:00 頃、佐原家の送迎により菅野家へ到着。家の中を案内した後、荷解きや移動の疲れを考慮し、2 時間ほど休息の時間を設けた。事前に作成した滞在中の予定や家の案内などをまとめたウェルカムブックを渡し、内容を確認してもらった。昼食は鐘庵にて、桜えびのかき揚げ丼と蕎麦を食べた。その後スーパーへ立ち寄り、ベジタリアンであることを踏まえ、食べられる食材を確認しながら買い物を行った。帰宅後は一緒にカレーを作り、英語を勉強中の 15 歳の長女と簡単な英会話をしながら雑談を楽しんだ。食後は、片付けまで一緒に行った。

その後、近隣の海へ出かけ、子供たちと共に浅瀬で遊び、楽しい時間を過ごした。

夜は家族で手持ち花火を行った。カラフルな花火や線香花火を見るのは初めてとのことで、興味深そうに楽しんでた。また、梅干しやぬか漬けなど、日本の漬物にも挑戦した。就寝前には、子供たちの寝かしつけを兼ねて、簡単な日本語の絵本を一緒に読んだ。

20 日 前日、蕎麦を食べた際に「日本の食事は一食当たりの量が多く、残してしまうのが申し訳ない」と話していたため、朝食はお茶漬けと漬物で軽めの内容とした。身支度を整えた後、駿府匠宿を訪れ、陶芸体験を行った。何を作りたいか尋ねたところ、「抹茶を点てるための茶碗を作りたい」とのことで、茶碗作りに取り組んだ。丁寧に形を整え、真剣に制作する姿が印象的であった。その後、日本料理店「江戸駒」にて昼食をとり、食後は近くの公園に立ち寄り、子供たちと一緒に過ごした。公園で蟬の抜け殻を見つけると、日本の蟬の大きさに驚いている様子だった。移動中は、子供たち(3 歳、1 歳)にドイツのじゃんけんの仕方を教えたり、いないいないばあをしたりするなど、積極的にコミュニケーションを取ってくれた。その後、静岡での生活や身近な施設について説明しながら、静岡のイオンやダイソーなどを見て回り、静岡での普段の生活や身近な娯楽に触れてもらった。

21 日 ごはん ベーコン 卵焼き みそ汁 この日の朝食については、本人が私たちの普段の食事にも興味を持っており、ベジタリアンではあるものの、食べられる範囲で普段通りの内容で構わないとの希望があったため、通常の食事を用意した。その後、子供たちが通うふじみ幼稚園を見学した。園の先生に園内を案内していただき、園児の制作物や実際に過ごす様子を見ながら日本の幼児教育や園での生活について説明を受けた。

子供たちが決められた席に座って活動することや、夏の期間は毎日プール活動を行っていることなどに関心を示していた。特にプール活動については、ドイツの気候では同様の活動を行うことが難しいため、とても羨ましいと話していた。また、「通常の旅行では見ることでできない、日本の子供たちの生活に触れることができて嬉しい」と話しており、興味深そうに園の様子を見学していた。その後、久能山東照宮を訪れた。徳川家康については詳しく知らなかったため、その人物や久能山東照宮との関わりについて簡単に説明した。石段を登りながら景色を眺め、「ここを墓所に選んだ理由がわかる。景色も建物も素晴らしい。」と話していた。久能山東照宮では、職員の方に境内を案内していただき、建物の細部まで施された繊細な装

飾や造りを見て、感銘を受けている様子だった。また、本人が運動好きということもあり、1159 段の石畳も楽しみながら登っており、登り終えた後は達成感を感じている様子だった。その後、静岡副市長への表敬訪問に向かった。ポウラの地域では人口が少なく、市長も比較的身近な存在であることから、「静岡市の市長、副市長は約 65 万人の市民を代表する存在である」と伝え、その規模の大きさに驚いた様子を見せていた。後日、表敬訪問の様子が掲載された静岡新聞の記事を見せたところ、「このような短い滞在期間の中で新聞に掲載される機会まで得られるとは思わなかった」と話し、貴重な経験の機会を設けてもらったことを大変喜んでいて。その後、ライオンズクラブ ZC 訪問・YCE 生歓迎例会に出席した。催しとして三味線と琴の演奏が披露され、日本の伝統音楽に触れる機会となった。演奏後には、実際に三味線を弾かせていただく機会もあり、初めて触れる楽器に興味を示していた。演奏を聴くだけでなく、自ら体験することで日本の伝統文化をより身近に感じ、充実した様子を見せていた。

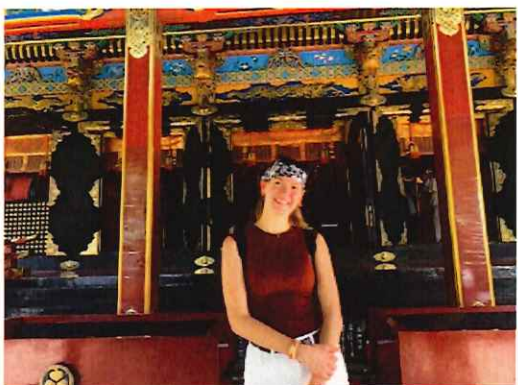
22 日 朝食はミネストローネ、パン、フルーツの盛り合わせ。三保の松原を訪れた。羽衣の松を見ながら海へ向かうと、富士山は見えなかったものの、松林と海が見える景観を楽しみながら散策した。日本らしい風景に触れ、写真を撮るなどしてゆっくりと時間を過ごした。その後、老舗の鉄板料理店「ル・セール」で昼食をとった。目の前で大きな炎が上がる鉄板焼きのパフォーマンスに驚き、感動した様子を見せていた。昼食後はいったん帰宅し、日本平花火大会へ向かうため、ポウラの着付けとヘアセットを行った。浴衣姿になったポウラは何度も鏡を見ながら、「とても嬉しい」と笑顔を見せていた。会場に到着すると、屋台で食事を買い、花火が始まるのを心待ちにしていた。花火が打ちあがると、横になって夜空いっぱい広がる花火をじっと眺めていた。「これほど多くの花火が同時に打ちあがるのを見るのは初めて」と話し、その迫力と美しさを楽しんでいる様子だった。

23 日 朝食は炊き込みご飯、豆腐とわかめのみそ汁、きんぴらごぼう、漬物 その後身支度を整えてもらい出発し、駿府城お堀の周りを車で案内するとともに少しだけ見学、その後 11 時 7 分の新幹線ひかり名古屋行きに乗せた。家族全員で見送り長女はかなり寂しがっていた。

駿府匠宿でポウラが作った陶器は 2 か月後に完成して菅野自宅に届くので届き次第ポウラ自宅へ郵送することになっております。

以上、報告いたします。

2026/7/19(土)~7/23(木) L菅野敬介 ホストファミリー



クラブ別派遣・受入実績表(YE開始～2026夏期)

R	Z	クラブ名	派遣	受入	R	Z	クラブ名	派遣	受入
1	1	浜 松	70	60	3	4	静 岡 駿 府	6	7
		浜 松 葵	27	22			静岡けやき(2026年6月末解散)	3	6
		浜松鎮山寺(2015年6月末解散)	21	16			静岡リバティ	4	5
		浜松西(2019年6月末合併解散)	18	17			静岡 弥 生	8	3
		浜 松 東	4	11			静 岡 巽	3	3
		浜 松 南	28	19			Z 小 計	24	24
		浜松リバティ	6	7			R 小 計	(※5) 218	215
		浜松グリーン	3	7		1	沼 津	26	20
		浜松若葉(2017年3月末合併解散)	0	0			沼 津 千 本	50	39
		ひかり(2023年6月末解散)	0	0			沼 津 香 陵	69	28
		浜 松 さくら	0	0			沼 津 中 央	9	11
		Z 小 計	(※9) 186	159			沼 津 駿 河	7	8
	2	磐 田	25	24			Z 小 計	161	106
		天竜(2003年6月末解散)	6	6		2	富 士 吉 原	37	13
		森 町	4	7			富 士 岳 南	9	11
		袋 井	12	15			富 士 宮	35	26
		豊田(2023年6月末解散)	1	4			富士タカオカ	4	8
		磐田南(2015年6月末解散)	0	3			富士宮中央	7	13
		磐田シニア(2022年6月末解散)	0	0			富 士 中 央	16	5
		Z 小 計	48	59			富士マウント	4	4
		湖 西	13	14			Z 小 計	112	80
	3	浜 北	14	15		3	御 殿 場	8	13
		奥浜名湖(2024年6月末解散)	1	7			裾 野	7	18
		新居町(2012年6月末解散)	1	5			小 山	3	5
		三 ヶ 日	4	9			清水町(2024年6月末解散)	13	9
		浜北グリーン(2009年6月末解散)	1	3			長 泉	7	15
		Z 小 計	34	53			Z 小 計	38	60
	4	掛 川	1	4		4	芝川(2018年6月末解散)	3	5
		菊 川	0	3			富士宮英雲(2024年6月末解散)	0	5
		大 東	0	1			Z 小 計	3	10
		御 前 崎	0	2			R 小 計	314	256
		小笠(2022年6月末解散)	0	2		1	熱 海	5	17
		大須賀(2024年6月末解散)	0	2			伊 東	19	20
		Z 小 計	1	14			下 田	10	12
		R 小 計	(※9) 269	285			東 伊 豆	3	6
2	1	静 岡	32	30			西 伊 豆	1	3
		静 岡 葵	29	15			伊豆松崎(2011年7月29日解散)	1	2
		静 岡 橘	17	20			南伊豆(2006年8月末解散)	0	3
		静岡青葉	9	9			河 津	2	6
		静岡芙蓉	2	8			Z 小 計	41	69
		静岡WITH協力会				2	三 島	19	17
		常葉大学草履キャンパス"Link"					修 善 寺	8	9
		Z 小 計	89	82			大 仁	13	12
	2	清 水	14	17			土 肥	0	2
		清水羽衣	16	15			函 南	4	7
		蒲 原	17	10			伊 豆 長 岡	3	5
		清水みなと(2020年6月末解散)	21	7			三 島 泉	2	2
		清水日本平	4	9			中 伊 豆	2	2
		Z 小 計	(※5) 77	58			天城湯ヶ島	1	3
	3	藤 枝	8	11			韮 山	2	2
		島 田	7	11			Z 小 計	54	61
		焼 津	7	10			R 小 計	95	130
		榛 南	4	9			地 区 総 計	(※14) 896	886
		川根(2021年12月末解散)	1	6					
		藤枝葵(2018年6月末合併解散)	1	4					
		Z 小 計	28	51					

★(※)はZ合同派遣人数＝合計数に含む

★C対C交換は含まず、他Cとの共同受入は含む。★2003年夏の夏季派遣はSARSの為、中止。
 ★2020年夏の派遣受入はCOVID-19の為中止。冬季受入のみ実施。
 ★2021～2023年夏の派遣受入及び冬季受入はCOVID-19の為中止。

過去39年間の派遣・受入数実績表

ライオンズクラブ国際協会334-C地区

年度	夏 季										冬 季					春 季				
	派 遣					受 入					受 入					受 入				
	総数	1R	2R	3R	4R	総数	1R	2R	3R	4R	総数	1R	2R	3R	4R	総数	1R	2R	3R	4R
1987～88	17	7	2	6	2	10	3	2	3	2	6	2	2	2	0	0				
1988～89	26	9	11	6	0	22	10	4	6	2	3	1	1	1	0	0				
1989～90	23	6	2	10	5	18	7	3	5	3	4	1	1	1	1	0				
1990～91	24	5	6	12	1	8	3	2	2	1	4	1	1	1	1	0				
1991～92	17	6	2	6	3	7	2	2	2	1	5	1	1	2	1	0				
1992～93	20	13	1	5	1	9	2	2	3	2	7	2	2	2	1	0				
1993～94	18	4	3	11	0	13	4	3	4	2	8	3	2	2	1	0				
1994～95	20	4	5	9	2	14	4	4	4	2	7	2	2	2	1	0				
1995～96	29	6	5	16	2	13	4	4	4	1	6	2	1	2	1	0				
1996～97	22	3	4	12	3	12	4	3	4	1	7	2	2	2	1	0				
1997～98	12	9	2	1	0	11	4	2	3	2	6	1	1	3	1	0				
1998～99	19	6	10	3	0	11	4	3	2	2	7	3	2	1	1	0				
1999～00	9	1	3	4	1	7	2	2	2	1	5	1	2	1	1	0				
2000～01	18	4	5	9	0	7	2	2	3	0	5	1	1	2	1	0				
2001～02	21	8	2	11	0	10	3	3	4	0	2	1	0	1	0	0				
2002～03	SARSにより中止										4	2	1	1	0	0				
2003～04	10	2	6	1	1	6	2	1	2	1	4	1	1	1	1	0				
2004～05	11	4	1	6	0	9	3	2	3	1	3	1	0	1	1	0				
2005～06	15	7	4	4	0	11	4	3	3	1	3	1	1	1	0	0				
2006～07	6	2	2	2	0	5	2	1	1	1	4	2	1	1	0	0				
2007～08	11	2	6	3	0	9	2	3	3	1	3	1	1	1	0	0				
2008～09	9	0	4	4	1	6	1	2	2	1	3	1	1	1	0	2	0	1	1	0
2009～10	4	0	2	2	0	4	1	1	1	1	3	0	1	1	1	0				
2010～11	10	4	0	5	1	3	1	1	0	1	4	1	1	1	1	0				
2011～12	10	4	2	4	0	7	2	1	3	1	2	1	0	1	0	0				
2012～13	9	2	4	2	1	6	2	1	2	1	2	1	0	1	0	0				
2013～14	6	2	2	2	0	6	2	2	1	1	4	1	1	1	1	0				
2014～15	6	3	1	2	0	4	1	1	1	1	4	1	1	1	1	0				
2015～16	4	1	0	3	0	6	2	1	2	1	3	1	1	1	0	1	1	0	0	0
2016～17	5	0	1	2	2	4	1	1	1	1	4	1	1	2	0	0				
2017～18	7	3	1	2	1	4	1	1	1	1	3	0	1	1	1	0				
2018～19	4	2	1	1	0	4	1	1	1	1	2	1	0	1	0	0				
2019～20	COVID-19により中止										3	0	1	1	1	0				
2020～23	COVID-19により中止										COVID-19により中止					0				
2023～24	2	0	0	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0				
2024～25	7	2	1	4	0	7	2	2	2	1	1	0	0	1	0	0				
2025～26	1	1				2	1	1			1			1		0				
合 計	432	132	101	172	27	277	90	68	80	39	138	39	34	45	20	3	1	1	1	0

※2003～04年度に3Rより韓国へ1名冬季派遣。